

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第3区分  
 【発行日】令和5年7月24日(2023.7.24)

【国際公開番号】WO2020/218160  
 【出願番号】特願2021-516057(P2021-516057)

【国際特許分類】

C 0 8 J 3 / 1 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

C 0 8 F 2 0 / 0 6 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

A 6 1 F 1 3 / 5 3 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

10

【 F I 】

C 0 8 J 3 / 1 2 C E Y

C 0 8 F 2 0 / 0 6

A 6 1 F 1 3 / 5 3 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和5年7月13日(2023.7.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

重合体粒子と、金属キレート剤と、前記重合体粒子の表面上に配置された無機粒子と、を  
含む、

下記の手順により測定されるゲル層内部強度が0.8~2.0Nである、吸水性樹脂粒子。

(1) 直径2cmの平坦面を表裏に有する厚さ5mmの円板部、及び、該円板部の一方の平坦面である第1の面の中央に一端が接続され、横断面が直径5mmの円形である棒状部を備える治具と、生理食塩水176gを入れた底面内径5.7cmの円筒形容器と、を用意し、前記円筒形容器の高さ方向の中心軸が前記円板部の中央に位置するように前記治具及び前記円筒形容器を配置する。

30

(2) 前記円板部の前記第1の面とは反対側の平坦面である第2の面が前記生理食塩水の水面から鉛直下方32mmとなる位置に前記治具を浸した状態で、前記円筒形容器内に吸水性樹脂粒子4.0gを入れて、前記治具が埋設された膨潤ゲルを形成させる。

(3) 前記治具を鉛直下方に速度10cm/分で6mm押し込んだときに、前記治具に負荷される荷重をゲル層内部強度として得る。

【請求項2】

(メタ)アクリル酸に由来する構造単位及び(メタ)アクリル酸の塩に由来する構造単位からなる群より選ばれる少なくとも一種の構造単位を有する重合体を含む、請求項1に記載の吸水性樹脂粒子。

40

【請求項3】

請求項1又は2に記載の吸水性樹脂粒子を含有する、吸収体。

【請求項4】

請求項3に記載の吸収体を備える、吸収性物品。

【請求項5】

おむつである、請求項4に記載の吸収性物品。

50